月の納税

市民 税 (分4期) 納期 1 月 31日

人口の動き

42,137 男 20,002 女 22,135 7,875 世帶数

毎月15日 発行所 十日町市役所 昭和37年1月5日 (金曜日) 5円 行

昭和37年

号 月

昭和32年6月5日 第三種郵便物認可



発展を祈り、挙って郷土繁栄のた一九六二年を迎えて謹んで市勢の め力を合わせましょう。

重要施設の充実と

力を注ぎたいと思います。

屋を結ぶ飯山線の改善には特に

第三にガス事業であります

賀

新

年

躍進する十日町市

ございます。お揃いでごきけん 会計において本年度一気に四億 六日町間の二級国道への昇格は 市民の皆様、新年おめでとう 交通整備を推 市長

村

謙

吉

県道の整備を更に進めるととも

ヵ年計画の第二年目であり、国

に、咋年念願しておりました、

進

十日町市の財政規模は、一般 主要地方道原江津港―十日町―

経済的繁栄も、漸く緩慢とな 魔わしく、新年をお迎えのこと 五千万円となり、昨年度の決算 本年是非実現させたい。又八ヵ ふ存じます。 昨年は数年続きました世界の り一万円以上の財政となりまし りましたので本年は是非工事に 額を一億円余上廻り市民一人当 峠トンネルは昨年航空測量を終

けるものと明るい希望を持って 悪化し、金融引締めというきび 増大等により急速に外貨事情が り、日本経済も設備投資、消費 し、日本経済は一段と繁栄を遂 年は、 これらの悪 条件を克服 しい年越しとなりましたが、本

おります。 月襲いました第二室戸台風のた わが十日町市においては、九

ど復旧して新年を迎えましたと「庁舎等の建設、国県の公共事業 と被災者のど努力によりほとん 町小学校、市立保育所及び消防 はかりたい。

引締めの影響を受けてやく不安に賜であります。 を感ぜられますが、年産六十億 物は年末に日本経済全般の金融 力によりまして予算化できまし 施設もほとんど余祐がありませ ころであります。又主要産業織 画事業等が、市民の皆様のご協 とはまことに喜びに堪えないと の大市増加、新市建設五ヵ年計 りますが、昨年来より屡家の使

円を遂に突破し、業界の協調に まだ懸案の大事業が多く残され より益々発展を期待されておりております。まず第一に交通問 しかし、十日町市には、まだ 速に必要になって参りました。 用が限度に来ており、更に処理 んので、し承処理場の建設が急

題でありますが、新潟県と名古的に取組むつもりであります。 め専門調査機関を設置し、本格 本年はこのし尿処理場建設のた あいさつといたします。

りそうであります。

涌井友太郎

委

政的にはすいぶん苦しい年にな

め未曽有の大被害を受けました た。これは市長就任当時公約し 蒼手していたゞき、一日も早く 年も職員の協力を得て、市職会 が各方面からの暖かい援助物資 ました、市民厚生体育館、十日 東京と直結する道路の無雪化を 第二に、し尿処理の問題であ

とともに大十日町市建設のため

春 柳 日

であると痛感しております。本 市政に対する市民の理解と協力

山樋藤庭服庭南田熊木野部野雲

籴

秀元 周衛

めるにあたり一番大切な鍵は、

市民の皆様、私は今市政を進

機を賜わりますようせつにお願 ぞ昨年にも増したど協力、ご鞭 いいたします。 邁進する覚悟であります、どう

祈りして、一九六二年新春のど 様のご健康とご隆島を心からお とゝに謹んで市の発展と、皆

雪害対策を促進 福祉の向上に努力

畿長

樋

口

政

太

郎

努力によりここに、年あらたま た。しかしみなさまのたゆまぬ の波となって迫ってまいりまし 金融の引き締めは、業界に不況 より大被害を受け、更に加えて まされ、秋には未曽有の台風に す。昨年は新年早々豪雪になや 同慶に堪えないところでありま いできますことは、まことにご あわせて十日町市の弥栄をお祝 みなさんとともに新年を寿ぎ、 昭和三十七年を迎えて市民の

迎えましたことは、まことに

喜をはじめ厚生体育館、保育所、 って一陽来福、輝かしい新春を が待望久しかった十日町小学校 履しております。特に、雲害対 消防庁舎等々続々完成の運びとを機に、強力な運動を続けてま さて、本年は市民のみなさま 新たにして市民福祉の向上を念 策につきましては、昨年の豪雪



気一新、広く深くさらに思いを とよりでありますが、この際心 大とその充実を期することはも 五ヵ年計画を基に、諸事業の拡 いたしましては、引き続き新市 繁栄とご健康を祈願し、年頭の されるものと信じております。 法」として提案され必ずや制定 どあいさつといたします。 ぬ御支援を賜りますことをお願 り、画期的な無雪道路の実現が も超党派をもってこれが立法化 りわけ流雪溝の整備が容易とな 種々の対策がなされますが、と の決議がなされておりますので い申し上げると共に皆さまのご 存であります。なにとぞ、変ら 添うよう一層の努力をいたす所 る対策の確立と、これまで蒲原 今通常 国会に「雪害対 策基本 を期待し、みなさまのご期待に 政治といわれた格差政治の是正 脱皮特に、豪雪山間僻地に対す 政の誕生を期に、後進県よりの **期待されます。なお、新塚田県** これが制定により電害に対する

なっております。私共議会人と いりましたが、その結果、さき の臨時国会において衆参両院と 区となっています。 でどざいまして顕微区は二十二 ◎調査区 らず、県の抽出による光調査 尚、十日町市は悉皆調査をや

十日町=島、赤倉 条—四日町新田、上原、 勝、宇田*沢、西枯 木又、美女木 四日町第四、島、嘉 (9人工乾燥機の使用状況 19労働不足のため適期刈り取り 10除草剂使用状况 毎中間施肥、穂肥の施肥状況 のできなかった田面積

の稲の品種別作付面徴と栽植密

⑧苗代の種類 の用、排水の便否

下さるよう重ねてお願いいたし のありのままを調査員にお答え 一が、みなさんから申告していた ついてつぎのような項目をおた 内の農家について、農業経営に だいた事柄は聞く秘密が守られ た調査員が、県下七千余りの調 査区のうち約六分の一の調査区 査」を実施するととになりまし 月一日を期して「稲作総合調 ておりますので、安心して事実 すねすることになっております この調査は知事から委嘱され ⑤動力耕うん機の所有状況 の経営耕地の種類と面積、自宅 ②屋備労働の人れ方 **④稲の作付け、収穫量、** ①世帯員の働き方 ◎調査項目 の田畑輪換と裏作 大 簡―ニッ屋 物の部門別販売金額 穫、枚数 からの距離別田の団地数、面 吉 田-小泉、北鏡坂、鉢

苅潟県では、昭和三十七年二| 二月一日現在で実施 川治―北新田、控木、浅之 下 条—上新田第一、廿日旬 山根、仙ノ山、塩野

稲 作総合調 査

杂梅 茶 樋 光 斉木 鉴 後山保太郎 児玉 英治 尾身 正徳 久保田鶴一 田村平八郎 水池 遠落田由 糧 亮 慶 龠 小海隆三郎 福崎著衛門 岩田 好雄 阿部 周作 村山佐一郎 足身 友一 村山 中林三男三郎 好機作

又道路については、新道路五 の坪山地内よりのガス導入は望 心とした老朽校舎の建築に真剣 第市内中条、下条両小学校を中 ります。十日町小学校の完成次 計画を樹てたいと思っておりま 専門委員とも協議の上新たなる みが薄くなりましたので、ガス が、期待しておりました川西町 思っております。 ますが、昭和三十六年度の予算 に取組んでいかねばならないと 第四は、文教施設の充実であ その外、仕事は山積しており 謹 慶円 卢

規模がふくれた反面、本年は財 林 佐藤三男大

尾太長水関村身田野落口山 滥 岡村 生 福栄 健 利 長 貞 米平 委 佐伯 娪 佐中高渡後島関野 横辺藤田口 杂 * 橋本灣 一郎

後南南小松桑 瀬春 丸水 鈴 樋水 水 解 東 東 海 沢 原 井 井 日 山 落 木 網 水 落 東 井 井 田 東 音 佳 リ 満 海 良 海 治 少 必 古 リ ノ 尚 平 雅 ツ 仲 祐

た。尚

請願、陳情も各委員

会に附託され現在審査中です。

一校分離整備に伴う地元負担に

●専従者の取扱いは収入金額か-

て

の主な内容

だちと一

き方が 大切かと 思われま トラボームとか、皮ふの病気な

いたい点とかがあると思い か、とくに気をつけてみてもら

マたくさんのお友 強 マ教科書 ことばを聞きます

たんに、学校がきらいになった 体が丈夫であることが、何より

ときどき

人数の学校生活でもまれて、と に勉強することが多いので、身 なみたいていのことではどざい気の弱いお子さんなどは、大 が、きめられた時間で、一しょ に満足行くようにする苦労は、

▽時間ごとのお勉

聞くことであります。そこで、 というようなととも、

の具合がわるいと、学校も面白

次に、

学するお子さん

いたらよいだろう

すをみて、

おぼ

お家の輪から

や姉さんの話をきいたり、

よう

学校生活は、たくさんの人々 すに出来るように教えておいて

下さい。

すが、学校に入ると、

ついて、ニ、三か かやということに 心のかまえをして に、どんな事前の 上られるお子さん あさんがたへ おもちの おと

らは知っている くつかのととが ろけながら、い

学校

への輪

がもれなく目を 五十人のお子さ

くばり、みんな んを一人の先生

までどおり、

とおもいます。

ガッコウという

第 四 P 定

(正予算などを可 例 市 議 슾

追

加

たって開かれました。 この議会 | 同様第三種除雪として下条--十 第四回十日町市議会定例会は | いて今冬の改善策や新規計画な | の方法などが主な改正点であり 35年度決算認定は委員会附 日町―上野間を実施する旨答弁 どについて質問があり、昨年と などによるもので、産業経済費 ます。追加更正予算は給与改訂

ことで決算委員会に附託されま 中旬頃までに結論を出すという 入才出決算認定については一月| 特別会計の、昭和三十五年度才 たが議案のうち一般会計並びに 十九件などが薔曦されまし 職案二十六件、請願、陳 で課税方式が改正となり、専従 三十七年度から適用されるもの 改正案が提出され、これは昭和 の一部改正により、市税の条例 ◎議案については、地方税法

情に大

がありました。

者の取扱いや、税額控除、申告し

百十七万円、教育費の百四十六の二百八十万円、市役所費の三 上げが行われました。 よる給与改正で国に準じて引き 千三百万円であります。市役所 万円などが主なもので総額約四 費はかねて人事院からの勧告に

市民税の改正につ い

専従者一人につき五百円を税 である場合、背色事業専従者 このほか所得割の納税義務者 することになりました。 円)をそれら、税額から控除 つき同様四百円(現行二百 ている場合、そのもの一人に が青色甲告者及び、白色甲告 (年所得五万円以下)を有し 人につき七百円、白色事業

大正月と小正月

|くから行われていた正月行事が |んだ行事が多く行われるように||いたします。 日を小正月とよんで農業にちな を大正月といゝ、表向きの行事 しく入ってきたツイタチの正月 だとする風習を教えたので、古 を行い、古くからあった満月の 二つに分れてしまいました。新 (新月) をもって年のはじまり てツイタチ ミが入ってき きます。

申告書を提出していただくこ とになりました。 のはじまりだ っていました めの行事をや の日に年の始 をもって一年 月の満月の夜 むかしから正 の祖先は遠い ととろが後に と考え、満月 わたしたち からだが丈夫になるといわれま 木を小正月に燃やしてあたると 木で作飾りを作ります。この若 を選んで伐っておきます。この キやノリデ、モミジなど赤い木

大陸からコヨ かきの裏似をしたものですが、 田かき正月といって田打ちや出 いまではほとんどみられません 又、この日を出打正月とか ゎ び

を一一四点にそれぞれ訂正 の場合屋間赤倉では九九・八点 点とあるのを九九・八点、 つぎのとおり訂正させていただ の点数に誤りがありましたので 日町市役所を起点とした場合 「医療費の改正」について「十 夏の場合庭削赤倉では一一四 先月 市戦第 六二号の記 事中

❸甲告の方法につきましては今 額から控除することになりま まで一枚の申告書に親族一同 なりました。さらに明治になっ

三人の所得者があれば三枚の 一人に申告書一枚と一家族で一で、十一日から二十日までが小 ます。大正月はだいたい七日ま まいましたが、大正月と小正月 お月さまと関係がなくなってし ら、ダンゴの木とよばれるミズ 正月さまの若木迎えの日です。 て山へ入り、山の神に供えてか て太陽路が入ったゝめ、 朝はやく、餅、魚などを持っ 、今では

大切になると思います。からた たせるしつけは、ご家庭でお願 動となるわけであります。この体が丈夫であることが、何より ませんので、せめて自分の用は に。お子さんの生活にも、大変 す。このことについては、学校、どの伝染病は、学校へ入る前に、が、そうしたことはごえんり、 意があると思いますので、よろをあわせて行きたいと思いま 四十人 てぐるぐるまわるし方でありま 受けもちの先生を心棒としての 二つの 愉がう まくかみあってま 生活の輪がくみ入れられるため 中心の輪がえがかれる、二つの 輪がえがかれると共に、一方今 として、おかあさんを心棒にし して勉強できるようにお互い力 感するととなく、たのしく安心 なく、学校の先生におつたえい 今までの生活が、お家を中心 北江いに力をあわせ お子さんがひけめを 家や母おやの心棒 とたんに 40 ď

産 建 税 市 財 庶 市 財 庶 市 財 庶 市 技 数 務 民 数 課 課 課 課 課 課 長 長 長 長 長 at 大岩渡田林野酒池岡中島田辺村 上井田田町 上井田田町 信正福正一忠梅作信忠 貞吾栄徳郎吉吉三郎雄

、お子さんの生活にも、

議会事務局長 消防本部長 **屡業委員会事務局長** 教育委員会既務課長 社会福祉事務所長 育 授 松井 極山曹桑龍田村原 佐 野 村 良一新一作男蔵郎 政 良 秀治 2

会教育課長

£

村

で 買

L١

ま L

ょ

ò

小 太 選挙管 宮 理 安

Ξ

橋川田山 珣 十 藤 造九吉孝

市

うさん、 る お子さんを 校 へあがられ

おか

▽通知表

などということが、

▽上級生と下級生

Ŕ

元気よく学校へ行けるよう 診断の時に、お医者さんからひ

ているところですが、と家庭で

い。入学する前に行われる健康 ぜひなおしてあげておいて下さ

ただいて、

とくに苦心をされ

▽お家とちがうきまり ▽大きなたてもの

はじめて学校へ

るお子さんのうちには、兄さん点です。

んできます。はじめて入学され たいと思います。これが第一の

しくお願い致します。

ġ.

用便のし万を一人で、じょう

おもに浮 もたせたりしてあげていただき

にはげましたり、あかるい夢を

とりひとりに、

いろいろとご注

りました。又無雪道路計画につ

□はじめて学▽校長先生と先生がた

度であるという市長の回答があ 市の負担は大体大百五十万円程

そのもの一人につき四百円 務者が障害者である場合及び

(現行二百円) 又は扶養親族

挟養親族を有している場合、

五十万円となっており、十日町 商店関係五十万円、PTA二百

の税額控除では所得割の約税券

市町村九百五十万円、 万円が地元負担で、その内容は 算三千万円のうち半分の千五百 ついての質問に対しまして総予 ◎一般質問 では十日町高校

、織物業者

税額控除をすることになりま 額」から専従者一人について ら控除せず、算出された「税

桑福 小保飯 固定資産評価審査委員 탄 宮 査 山坂塚 原崎 委 武正員 徳 賢 志 平 治

淹 柳 本 松 滝 教 育 田井沢 季 圖 林儀金秀泰 次 作治郎

大吉山 公 Ŧ 島沢本 季 由寬豪 員 松平平

斉 樋 庭 池 桑 小 石 井 徳 後 村 阿 大 桜 野田原海坂川永藤山部島近 樋 藤 П 正 惣 吉 広 武 隆 E 修泰 唯 政 ケ 昭 雄 政 = 太郎 叫 義郎郎吉志郎隆 敏 七 郎 1 \equiv 郎 塩山柳庭滝保大庭竹高尾山片 野田川田 野沢坂島野内田身口 忠直好正宗義忠真 憲 栄 啓 美秀賢 太 治司邦平 郎 平治作真助教二吉 雄

助 市 収 市 入 役 長 役 会 議 髙 11 栤 員 Ш H 木 佐 彦 謙 (議席順) 五 飶 逈 吉

煙 草 は 市 内

二平下貝為桑原名鉢北吉船麻稲空笹陽山高高高城川川入笠三東山新疆北峠中中塚尾四四新新菅嶽田田水頭八稲西加四昭昭高段本本本本タの永 20日 日本

塩慶仙水山黌岩山中高樽稲二大椌池浅山山高高高北川川池上蒙樂中魚嘉中中背上太四四四新示軽江川田学宮稲旭駅泉昭 之 9個 之之本本田山山新山 新山中 日 秦之 条条 于时时时 原 原口校时时 通 町 野地山口根沢野際平島沢葉屋谷木平平五二四四一田二町谷原平倉沼川勝田島戸原煤団一一三倉沢道町東町西三町り町四 **樋小中村山高村水尾佐春児俵柳斉村羽庭阿雲高安秋竹佐曾西佐池岩大池樋岡樋大村春山太中庭阿庭**小南濱村**稷大**登閒小 口宮町山口橋山落身町日玉山 木山鳥山部野橋藤山内藤根山藤田田津田口田口照山川田田島野部野林寮井山辺川坂口川 武山弘義誠政幕文正博康周邦秀身二三広正又珣 澳一領介勝賴勝盛昭金政解 利寅辰庚道業重準罰留金庫利留寅 軍平 雄男生雄一德一平德一男助治夫守三郎司平吉造敬郎郎郎信枝蔵義雄成策二蔵茂太卯平作夫郎政郎郎ョ一吉保吉松清治吉

政 高田町南町 東町 東 田高根関関赤 川木建口口沢 正平醫美變直

福庭山根村街

高高袋本本町 田町町丁丁目 三一中一目 9 6 崎野田津山山 喜出津山山

1

2